

キラキラ
しんいち

第187号

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/hokubutiikishinkou/269916.html>発行：新市交流館
電話番号：(0847)52-5546ホームページの
QRです！ご長寿
おめでとうございます！

日時 9月15日(祝・月) 10時～12時
場所 新市交流館 2階 ホール
対象者 1,003人(77歳以上 男性354人 女性649人)

※2025年6月6日付名簿

今年度、神代神楽油木神楽保存会の神楽鑑賞を予定しております。

演目は「猿田彦の舞」^{さるたひこ まい}「大国主命」^{おおくにぬしのみこと}「大蛇退治」^{おろちたいじ}

敬老会対象者のみなさまには、ハガキでご案内します。

(問い合わせ：新市交流館 52-5546)

防災講座

小学生のみなさん～
パパ、ママ、おじいちゃん、
おばあちゃん、ご近所さん！
現役消防士が教えるよ！

遊びから学ぶ、防災ごっこ

ゲームで楽しく
学べるよ！

日時 9月20日(土) 13時30分～15時

場所 新市交流館 2階 ホール・会議室

講師

はら ゆう た

原 悠太さん

備後圏域消防職員自主勉強会(IKOF)代表

【プロフィール】 防災を専門的に学ぶ環境防災科(舞子高校 神戸市)を経て現在は、福山北消防隊員として勤務の傍ら、福山、尾道、井原、笠岡の4市などの消防隊員でつくる備後圏域消防職員勉強会(IKOF)の代表を務める。休日を利用して人命救助の訓練を重ね、訓練だけでなく市民の防災意識の向上を図るために、避難や事前の準備の重要性を訴えている。子どもから地域全体に防災への啓発を精力的に活動。



申し込み 52-5546 または QR から(参加者名、電話番号をお知らせください)

みんなの終活



エンディングノート ナビゲーターの 赤川なおみです！

(No.86)

「互助」でよみがえる！
誰もが住みたくなるしんいちをつくろう！
4回目 “気にかける、それだけで安心につながる”
互助のカタチ

こんにちは。「人生悔いなし！を全力サポート」の特定非営利活動法人エンディングノート普及協会理事長の赤川なおみです。暑さのピークはいつまでだろう？持ち堪えられるか？と思いながらの生活ですが、だからこそ今月のテーマが重要です！今月は「孤独・見守り」について、地域の中で私たちができることを考えてみましょう。

◎「最近あの人を見かけないな」が大切なサイン

同じ町に住んでいても、顔を合わせる機会が少なくなっていないですか？ とくに一人暮らしの高齢者や、日中家にこもりがちな方にとって、誰にも会わない日々を送っている人は多いはず。誰かに気にかけてもらうことは安心につながります。「そういえば、最近あの人見かけないな」・・・そうやって気づけることが、見守りの第一歩です。

◎さりげない見守りが命を救うことも

「洗濯物がずっと干しっぱなし」「夜になっても電気がついていない」「新聞が何日もそのまま」

——孤独死の発見は、こうした日常の小さな変化

に気づくことからです。早期に気づくことで命を救える事例は全国で報告されていますし、町内でもありました。

見守りといっても、毎日訪ねていく必要はありません。玄関先ですれ違ったときの「こんにちは」、スーパーで出会ったときの「暑いですね」など、あいさつこそが見守りにつながります。

◎声をかけるきっかけをつくろう

「大丈夫ですか？」と声をかけるのは、最初は少し勇気がいるかもしれませんが、でも、慣れてしまえば意外と自然にできるもの。むしろ声をかけてもらった方が「誰かが気にしてくれている」と感じて、うれしい気持ちになることが多いようです。最近では、声をかけるのは気が引ける・・・という時には、ポストカードやメモを使って「いつでも声かけてくださいね」と伝える工夫をしている地域もあるようですよ。

◎見守りは一方通行じゃない

見守る側と見守られる側。そんなはっきりした境界線は、本当はありません。普段は助ける側だった人が、ある日、体調を崩して助けられる側になることだってあります。誰もが「支える人」であり「支えられる人」になる可能性がある。だからこそ、日頃から気軽に声をかけ合える関係を築いておくことが大切です。

そして「大丈夫ですか？」と聞かれた時、「助けてほしいな」と言える勇気も大切です。どうしても「大丈夫です」と言いがちですが、自分から助けてと言える関係こそが互助の始まり。この夏、いつもより少しだけ、まわりの様子に目を向けてみませんか？



花のある暮らし 花職人 ユミ

～お花は、あなたの人生を
豊かにします～

8月のお花はパンパスグラス（Cortaderia selloana）です。
南アメリカ原産の大型イネ科植物、アルゼンチンやウルグアイのパンパ（草原）に自生していたことからその名が付けました。
高さは2～3メートルにもなり、夏から秋にかけて大きな羽毛のような白銀色または淡いピンク色の穂を風に揺らします。
その姿は優雅でダイナミックな存在感があり、庭園のアクセントやドライフラワー、フラワーアレンジメントに広く利用されています。特に穂は乾燥しても形が崩れ

にくく、インテリア装飾として長期間楽しめます。

パンパスグラスの花言葉は「光輝」「人気」「風格」です。耐寒性、耐暑性に優れ、日当たりの良い場所で育ちやすいのも特徴です。自然の風景にも人工の空間にも調和するパンパスグラスは、近年ナチュラルな装飾素材として人気が高まっています。オシャレなカフェの装飾、ドライブーケ、生花アレンジに使うと存在感があり、とてもインパクトのあるアレンジになります。今回は生花のアレンジに入れてみましたが、パンパスグラスだけを花瓶に入れても素敵ですよ！

あなたもこの夏はパンパスグラス お部屋に飾ってみてはいかがでしょうか。



2025 KIRAKIRA

～夏の恒例行事 KIRAKIRA まつり
酷暑を吹き飛ばし、熱く盛り上がる～



新市小学校3・4年生

8月2日（土）18時から新市小学校グラウンドにおいて「2025 KIRAKIRA まつり」が開催されました。

オープニングは、新市小学校3、4年生がロック調の「夜祭音頭」の新市バージョン「しんいち YASAI 音頭」でダンスを披露してくれました。赤橙緑黄のビタミンカラーの法被で元気をもらいました。

ステージでは西日が照り付け暑さが厳しい中、開会の式典とポスターの表彰がおこなわれ、191点の応募者から佳作3人と特別賞、優秀賞に賞状と副賞の図書カード、ポスターをプリントしたマグカップが授与されました。

栄えある優秀賞に選ばれた新市小学校4年生の山本桃愛さんは「楽しいキラキラ夏まつりをイメージして描きました」と笑顔でインタビューに答えてくれました。



ポスター表彰



式典



よさこいの神石踊娘隊きらきら星のみなさんが、「君の想い～悠久の時を越えて」の演舞タイトルで帝釈峡の雄大な自然を表現、季節に合わせて鮮やかに衣装が変わり、躍動感ある演舞に魅せられました。鳴子を持って一緒に踊る聴衆の姿もありました。

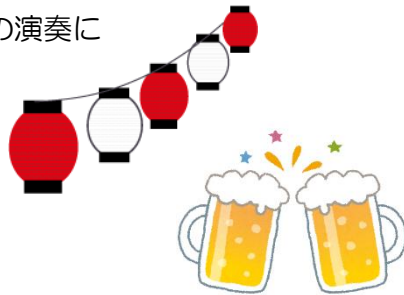
神石踊娘隊きらきら星



新市中央中学校吹奏楽部 OB 会



日が落ちて暑さが落ち着き、吹奏楽の演奏に観覧席も満席



「焼きそば、絶好調!？」

祇園祭で新市を大いに盛り上げ、KIRAKIRA まつりでも圧巻の太鼓演奏で、澄んだ篠笛の音色との調和に引き込まれました!

余力を残さず体力の限界まで挑戦することをモットーとしているとのこと、強く激しく躍動感にあふれていました。



備後しんいち鬼炎太鼓



抽選会

小野さん
特賞のテレビ
おめでとうござ
います

まつり開催についての意見を募集します!!
開催時期、開催方法など、地域の皆さまの
声を聞かせてください!
新市交流館 52-5546 または右の QR から

